

防災・減災フォーラム in 朝倉

ダムの洪水調節機能と情報の充実に向けて

～ダム操作の情報について『伝える』から『伝わる』、『行動する』へつなげるために～



独立行政法人 水資源機構 筑後川局



アンケート集計結果

アンケート

今回のフォーラムでは参加者約350名に対して、「フォーラムに参加したことによる防災意識の高まり」、「ダム の 効用 と 限界」、「自宅、家族で災害に備えていること」、「今回のフォーラムについて感想、意見」についてアンケートを実施し、203名の方々から回答が得られた。

【各アンケート集計結果】

◆ 今回のフォーラムに参加して防災意識の高まりは？

- ・全体の9割以上の方が『非常に高まった』及び『高まった』と回答
- ・どの世代においても意識が高まっている割合はとて多い

◆ ダムの効用と限界について？

ダムの洪水時防災操作、防災減災効果について

- ・『初めて知った』の割合は全体の2割程度であった
- ・『何となく知っていた』の割合は全体の5割程度であった
- ・『もともと知っていた』の割合は全体の3割程度であった

ダムの異常洪水時防災操作について

- ・全体の9割以上の方が『よく理解できた』及び『理解できた』と回答

今回のフォーラムに参加してダムの効果と限界について

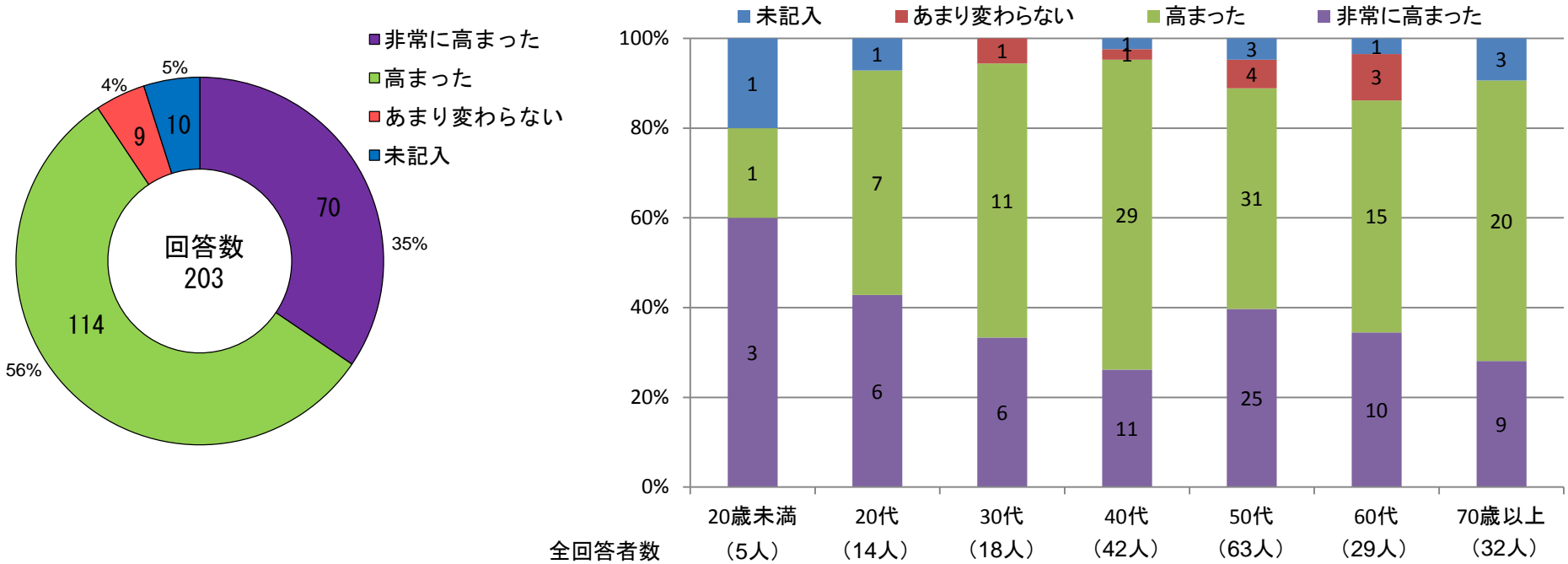
- ・全体の9割以上の方が『よく理解できた』及び『理解できた』と回答

➤ 今回のフォーラムを通じて、参加者の防災意識が非常に高まった

➤ フォーラム開催前は、ダムの効用と限界について『初めて知った』及び『何となく知っていた』割合が多かったが、今回のフォーラムを通じて参加者全体の9割以上の方が理解できた結果となった

アンケート

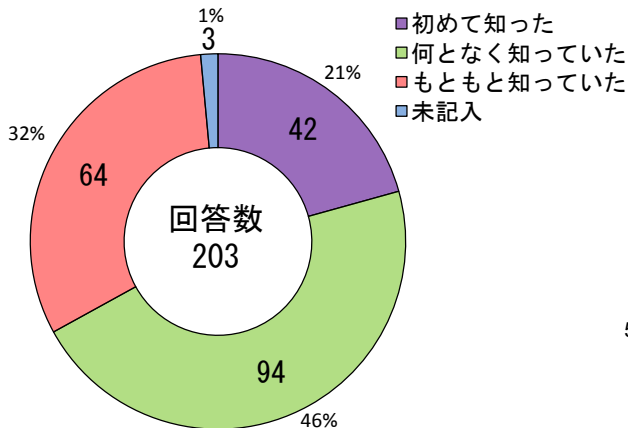
➤ 今回のフォーラムに参加して防災意識の高まりは？



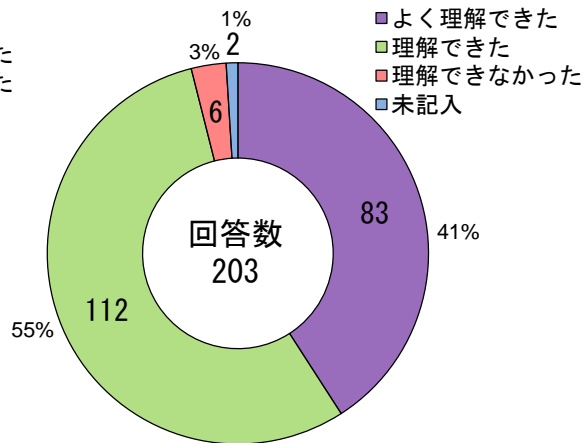
アンケート

＞ダムの効用と限界について

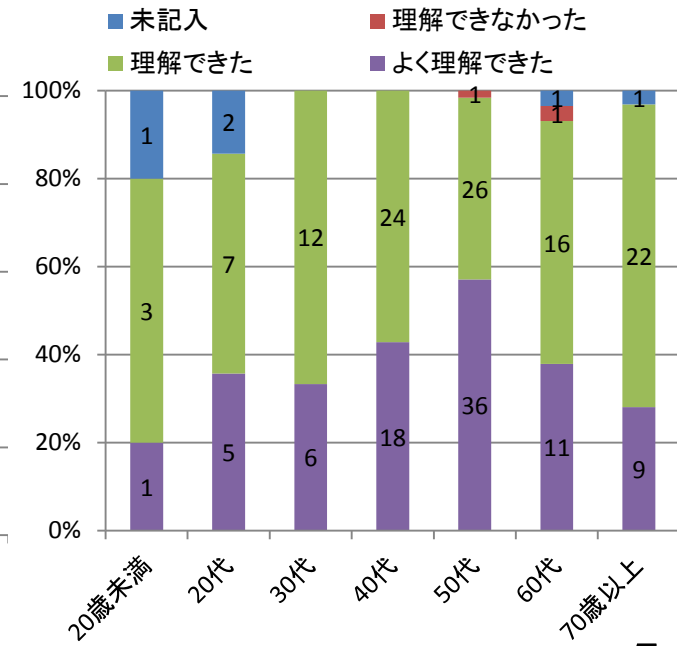
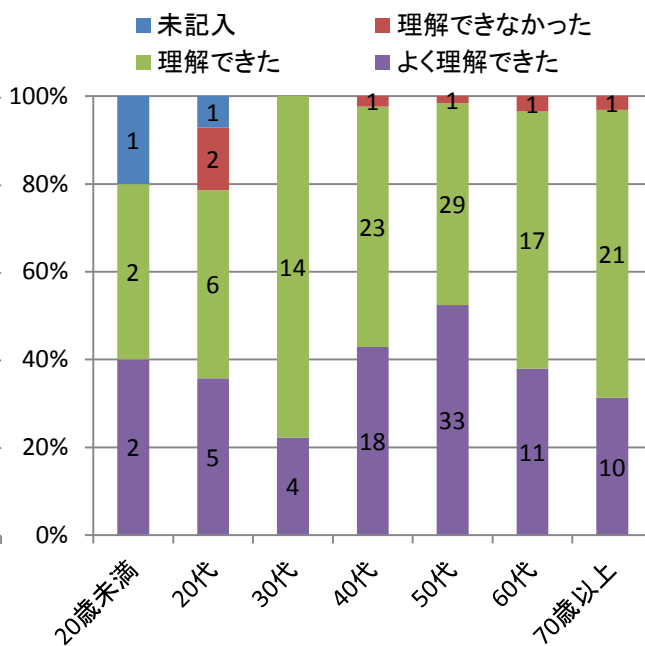
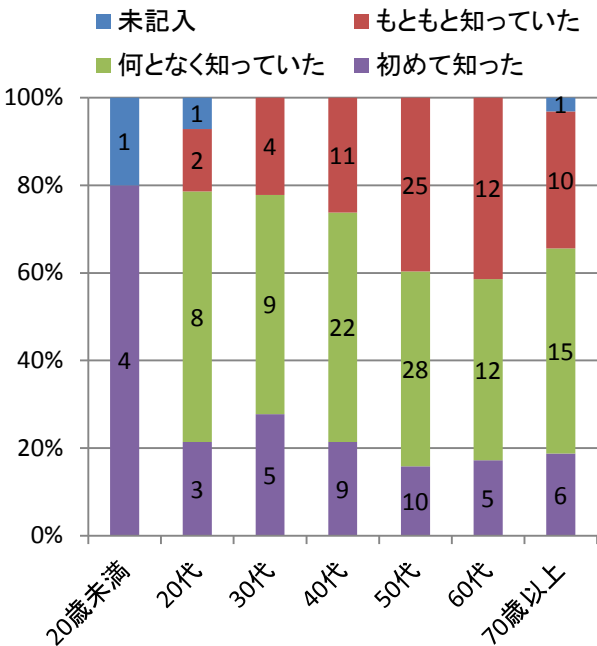
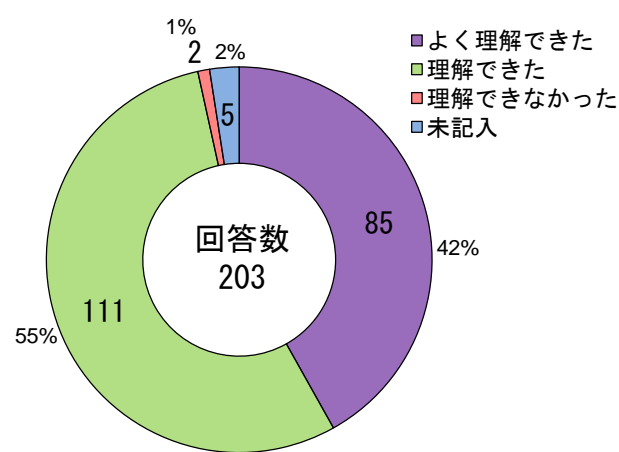
ダムの洪水時防災操作、防災減災効果について？



ダムの異常洪水時防災操作について？



今回のフォーラムに参加してダムの効果と限界について？



全回答者数 20代未満(5人) 20代(14人) 30代(18人) 40代(42人) 50代(63人) 60代(29人) 70歳以上(32人)

アンケート

➤ダムの効用と限界について感想・意見

- ・早めの避難、個人の避難場所を確認する。
- ・ダム効用の限界として、洪水調節容量を使い切った時点で、ダムが無い状態と同じになる、との説明ですが、それは河川流量の観点についてであって、流木を止める機能など他の機能は役立っている点は、もう少し言及した方が良いと思う。満水になったら、役に立たないという誤解が出ます。ピーク流量時よりは少ない河川流量を流すので、それだけで効果がある。
- ・小石原川ダムについても教えて欲しい。
- ・ダム情報の発信ができ、大変良かった。
- ・ダムの利水目的は理解できるが、異常洪水時防災操作と、人命、家、財産の犠牲は納得できない。運用だけでなく、機能向上による解決策を早急に検討すべき。
- ・毎年開いていただきたい。異常洪水時防災操作や他の災害訓練等を織り交ぜた訓練日を設けるべきではないか。ダムに関する役割・限界、ダムに関心意識を高めることが出来るのではないか。
- ・ダムの限界に関する危険性への警戒心が強くなったような気がするので、もう少し住民の方の誤解を解く、あるいは軽減する補足説明が必要だと思う。
- ・ダムの限界を知ることによって、最後は人との助け合いが大切だと感じた。
- ・3つのダムの有機的なつながりがあるのか聞いてみたい。小石原川ダムの建設の遅れが水害に与えた影響はなかったのでしょうか。
- ・気象庁の予報の精度向上必要性を痛感した。
- ・山自体がもつ保水能力をもっと活用する。山に植える木は「杉」だけでなく保水力のある雑木を増やすべきではないか。ダムだけに頼ってよいのか。
- ・ダムの効用と限界について良く理解できた。しかし住民が広く理解するまでは至ってない。住民の意識として自分が何かするのではなく、何かをしてもらうことに慣れすぎている。意識改革が必要である。自分の命は自分で守る。個人のわがままが、他人の命を奪うこともあることを認識すべきである。
- ・久しぶりに勉強をしました。
- ・運用のあり方が問われると思う。

アンケート

➤ご自宅・ご家族で災害に備えていること(1/3)

- ・特に備えている事はないが、2～3日の水の確保は必要であると思う。
- ・寝るときはトレーグウェア、ベッドの横にはスニーカーとヘルメット。手持ちの現金はお札以外に100円玉と10円玉をもつ。水のペットボトルは常時6箱程度、食料はビスコが万人が食べられるので缶タイプを常備している。
- ・今日まで備えがなかった。まず最低限の備えをすることが大事だと思った。情報を一早く入手する事。その事を他人へ広げる事。情報の共有が大事だし、行動につなげることも大事だと思う。
- ・防災マップの確認。備蓄食品等の準備。
- ・非難場所は「ここです。ここにいます」と合言葉のように話をしています。
- ・感心は充分にするが準備、備えまでまだ出来ていない。水の保存は充分にしている。自宅のすぐ近くの高台の神社を非難場所と決めている。
- ・自宅ではありませんが、数年前に自宅近くの河川護岸整備が実施され、併せて雨水配管が大きいものになりました。それ以前は、大雨時に道路が冠水していましたが、整備後はH30、H29の大雨時も冠水はしていませんでした。自治体の工事判断が良かったと感じています。
- ・高齢者がおり、避難が困難な場合は2階へ移動する。
- ・地域で発行されている防災マップの活用と市の自主防災マップの確認、共通認識をもって災害時に動けるようにしました。こうした今日のような講演会で得た情報を家族で共有することも大事だと思います。
- ・台風、地震に対しては少し備えているが洪水に対しては地域全体が高台である為、心配はしていない。
- ・ローソク、懐中電灯、毛布、タオル袋に入れている。
- ・防災メールの登録。備蓄等。
- ・避難所遠いので高速は見えているので安心。
- ・常に貴重品は2階へ。水・飲料含めて置いてます。からぶりでも避難しています。
- ・防災情報を複数入手できるようにしている。地域連携した防災訓練に取り組んでいる。ハザードマップや崩落地などの危険箇所マップを確認して、どのような危険性があるか確認している。
- ・防災マップの活用。テレビ、ラジオのつけっぱなし。高齢者の安全確保。
- ・災害があれば、私自身は仕事場へ行かなければならない。そのために、妻、子供の家族は自分たちでやっている。基本は避難するように言っている。安全場所へ行くことが一番だと思う。

アンケート

➤ご自宅・ご家族で災害に備えていること(2/3)

- ・防災マップを確認すると浸水地域に入っております。佐田川周辺でもあり早めの避難をと考えています。ピーポートや、近くの避難所に避難しようと思います。自分の命を守ります。
- ・防災グッズを揃えたり、長い期間の水を揃えたりしている。
- ・備蓄食料、水、トイレトペーパー。
- ・仕事等で家や近くの避難所に行けないときは、親戚等の家に行くことを日頃から話しています。
- ・家を建てたときに、1.5M盛土をして建てた。このことで家に水が入らなかったのも、とても良かった。
- ・【防災情報の入手】「まもる君」「防災行政無線Tサービス」「地災専用Tサービス」。
- 【情報通信手段の確保】スマホ用予備バッテリー、トランシーバー(4台)、乾電池、ノートPCとバッテリー。
- 【防災用品備蓄】ブルーシート、ジャッキ、鉄パイプ、チェンブロ、ロープ縄、ポリタンク、土のう袋、カセットコンロ(ガス)、保存食、灯油、井戸保存及び水中ポンプ、まきボイラー、まき、灯油コンロ。
- ・避難セット、自主防災マップの確認。
- ・避難場所、避難用浮き輪を常備、ビニールプール(ボート代わり)、お泊まりセット。
- ・飲料水3日分、防災グッズ(懐中電灯など)。
- ・お風呂の水はためている。
- ・近所の方と情報を共有している、家族内での避難先の確認。
- ・持ち出し品の整理。
- ・強い降雨時の通行に注意している。
- ・情報源は、テレビ、ラジオが有効。
- ・家具の転倒防止。
- ・一定水位が上がってくる事を想定している。
- ・子供だけで家にいることもあるので、自宅以外の避難場所について確認している。冗談のようにいつも話していましたが、浮き輪は2階子供部屋においている。
- ・水害について→自宅の建設場所。地震について→倒れる家具を置かない。就寝中の発生にも対応できるように、懐中電灯を常時、枕元においている。出口までの通路をスムーズに整理している。
- ・自宅を建築するときに、過去の水害の水量を参考に地上げした。

アンケート

➤ご自宅・ご家族で災害に備えていること(3/3)

- ・低地住居に家を建てようと思っている人には地上げをすることを強制しなくてはならない。下水道の整備をやり直さなければならないと思う。下水道を広くすること。下水道が詰まっている所があるのではないか。点検して欲しい。
- ・避難の開始をどう判断するか、個人で生活できる準備をしている。
- ・昨年、北野町が浸水したとき、何もできなかったことを思い出した。

アンケート

➤フォーラムの感想・意見(1/5)

- ・住民が防災意識を高めるのに非常に良いフォーラムだと思います。今後、朝倉市だけでなく近隣市町村合同によるフォーラム、意見交換等する機会があれば有意義だと思います。自治体のみで考えることもなく、消防・警察・自衛隊含めて情報共有し連携する取組みを提案します。
- ・時期的にタイムリーと思う。
- ・もう少し、ゆっくりと分かり易いほうがいい。
- ・洪水地区に住まなければ良いと思う。
- ・もっと広い会場でお願いします。定期的な実施。
- ・大した知識もなく参加したが、色々な情報が得られた。持ち帰って自主防災が大切だとコミュニティーの場で拡げていきたい。
- ・今までが大丈夫だったが、昨年、一昨年の豪雨を受け、自分、家族の身を守る行動を取らなければならないと感じた。
- ・地域コミュニティーや隣組単位で避難訓練、防災取組みをしたら良いです。音頭取りをどこかがしてくれることで、具体的な動きを起こせるのではと思います。是非機会を作って欲しい。テレビと連携するのも新しい視点でした。
- ・ダムに限界があることが理解できた。
- ・認識することの大切さ、早めの行動、まず命を守ることを取ることが一番大事だと思った。
- ・ダムの治水での役割と限界が良く理解できました。H29の災害時、寺内ダムによって守られた部分も大きいですが、運が良かった一面もあったのですね。
- ・ダムの話が中心の内容とは思わず参加しましたが、ダムについての話が詳しく聞けて参考になった。異常洪水時防災操作など色々なご苦労があることを知りました。話としては小松先生の話が印象に残りました。市民への防災の話としては、とても良かった。防災減災市民がみんなに参加していくことが大切ですね。今回のフォーラムに参加していない人へ、どう伝えていくのか？も大切だと思います。

アンケート

➤フォーラムの感想・意見(2/5)

- ・今後このフォーラムをもとに、どうしていきたいのか？今回単発で終わりでしょうか？このフォーラムをきっかけにして、より身近な防災・減災に関する講座等を継続していくのか。市としての情報収集をもっと活発に行ってもらいたい。積極的に市民に情報をおろして頂くと思います。大きな被害を受けた市として、近隣の市町村よりも防災に対する取組み、防災に対する情報発信等遅れをとっていないでしょうか。「TVラジオをつけっぱなしに！」と言われても停電した場合、どうやって私たちは情報を得るのでしょうか。小松先生が話されていた「子供への防災教育」是非朝倉市せも！！
- ・ダムを3つも持つ市の住民として、それぞれのダムの知識を得ることは、大変良かった。他者にも話を聞かせてあげると思う。洪水に対しては一部を除いて高台が多いため、ダムが決壊しないかぎり心配はしていない。
- ・ダムの事も大事ですが、地域には農業用の堤が沢山あります。H29年度は水が少なくて良かったのですが、山が崩れ、まだ復旧できていません(今年5月から事業が始まりました)今年も不安です。テレビからの情報と言われたが、長安寺は停電で電話もダメだった。良い企画でした。
- ・防災への意識が高まったと思います。ありがとうございました。
- ・逃げる方向が分かると迷わない。道路に高台→を表示するとよい。
- ・専門的な内容で理解が難しいところもありましたが、意義のあるフォーラムだと思います。13時～16時半ということで盛りだくさんの内容でした。2回に分けて頂けたらと思います。
- ・ダム放流時サイレンが江川ダムか、寺内ダムか違いが分からない。昔は各家庭に絵でサイレンの鳴りかた配布してありましたので今回ぜひそうして下さい。(川の近くでパネルでしてありますが、そこまで見に行かなくてよいので)
- ・小松先生から話のあった防災教育は大事だと思った。出前授業をやるには労力がかかるので、今回のフォーラムの内容を動画にして学校教育で使ってもらうなど、合理的かつ効果的な取組みが必要と感じた。
- ・今回のフォーラム参加し感心したことは、家庭だけでなく地域にも周知できるようにしたい。個人個人が「まさか、ここはないだろう」ではなく、「避難したが何もなくて良かった」と笑えるようにしたい。
- ・情報を伝える側、受け取る側がそれぞれ意識を高く持つ必要がある。特に受け取る側の意識がどうなのかで伝わり方が変わってくると思う。その意識改革を取り組む必要が重要。
- ・非常に分かりやすい充実したフォーラムでした。甘木地区は、なかなか防災意識は上がりませんが、少しなりと今日勉強したことを伝えていければと思います。

アンケート

➤フォーラムの感想・意見(3/5)

- ・専門的すぎて、よく分からなかった。ビデオなどが出来ることを願っています。
- ・出水期前のこの時期に開催したのは、住民の自助を効果的に促すことにつながり、とても良いと思います。副市長のメッセージが熱く、心に響いた。
- ・たいへん良いフォーラムであったと思います。
- ・ダム役割がすごく分かった。
- ・より多くの方に参加していただきたいです
- ・時宜を得た企画であり、大変勉強になった。洪水調節機能を持ったダムのある佐田川、小石原川地域の住民が、直接の対象と思われるが、そのほかの杷木、朝倉の住民に対しても「洪水」という災害に対する基本的物議を得る為の、大変有意義な機会となったと思う。小松先生の言及された低平地水害(つかる)と中山間地水害(流される)の違い、低平地における一時避難場所(避難場所でない)の有用性、流木によるせき止めなど、貴重な情報だった。異常洪水時防災操作の情報を、ダムのある2河川の流域住民にも伝えて欲しい。2河川とその他2地域の源流は、ほとんど同じ場所ではないでしょうか？偶々の分水崩で各河川に分かれるだけで、下流に差し迫った危険は同じです。洪水に直接つながる曖昧さのない直接的情報は貴重で有り、重要です。
- ・今の状況は、よく理解できました。市民にわかりやすく、すぐ行動してもらえる情報発信方法を研究して欲しい。
- ・河川整備に関する話題がほしい(堤防、弱い箇所とか)。土砂災害等の他の天災についての話題
- ・従来よりダムの認識が深まった。空振りを恐れない。空振りで良かったね、より、もっと前向きに捉えられる考え方の必要性有り。大規模災害は、S28,H24,29,30となるが、小規模水害は多発している。
- ・YouTubeに流してもいいのでは？情報を流すツールは多くないので、効果的に活用することを考えていかなければ
- ・フォーラムの内容は、非常に有意義だった。多くの住民にいかに理解してもらうかが、今後の課題だと思う。
- ・現場報告を、パワーポイントだけでなく、資料も配布して報告し周知を図って欲しかった。
- ・市民の意識レベルを高める為にも、こうしたフォーラムを続けていただき、朝倉から全国に発信していただきたい。子供たちに対する防災教育をしてほしい。
- ・災害時のテレビ、ラジオの重要性について改めて考える機会となった。避難についても早めに、大丈夫と思わず行動していく必要性を感じた。ダムの重要性も初めて知った。

アンケート

➤フォーラムの感想・意見(4/5)

- ・具体的な数値や事例を用いた講話、ディスカッションだったので、非常に分かりやすかった。防災への理解と意識が高まった。
- ・住んでいる地域で、大きな災害が起きたことがないので、認識が甘かった。パネルディスカッションでは、様々な立場の方のいろいろな意見を聞くことができ、考えるいい機会になった。
- ・このようなフォーラム等を継続することによって、参加者、市民の意識を上げることが重要だと思った。
- ・切迫感のある防災情報の必要性、それを受けての住民行動の必要性が理解できた。フォーラムは、毎年実施すべきと思う。
- ・パネルディスカッションでは、住民の意識を代表して言っていただいたようで、具体的で分かりやすく、役に立った。
- ・避難行動要支援者支援を各地区で徹底して欲しい(誰が誰を助けるなど)。助け合うことの訓練を強く言って欲しい。
- ・自主防災の重要性、平常時の準備の大切さを感じた。地域の防災が何もされていないのが心配。知識の低さを感じる→教育、啓蒙の必要性。小松先生の話はわかりやすく、心に響いた(信頼関係の機構図)。
- ・自然災害とあきらめているが今後対策を考えたい。勧告、指示、の言葉を、老人、子供にもわかる言葉にして欲しい参加して良かった。非常時は、半鐘の音が良いのでは？(小松先生の話から)
- ・防災に詳しい方々の意見を聞くことができて大変良かった
- ・限界についての改善を進めて、無限になるよう努めて欲しい。常に想定外を意識する。危機管理を日頃から意識する。「天災は忘れた頃に現れる」
- ・大変有意義なフォーラムでした。講師の人選も良是非、何らかの形で継続して欲しい。マスコミとの連携、大賛成、広く知って欲しい。
- ・寺内ダムのHPの紹介をもっとすべき。ダムとマスコミの協調。マスコミのダム操作に対する十分な理解も必要。県による河道整備が必要なことは今回無かった。ダムからの情報提供だけでは・・・。
- ・角先生聞きやすい。元永局長分かりやすい。
- ・住民に早く正しい情報の必要性を強く感じた。
- ・情報発信の方法。住民と行政などの関係者が平常時から信頼関係を築くことが大切であることに気づくことができた。
- ・基調講演の資料をもう少し配布していただけるとありがたい。
- ・災害を自分のこととして感じる事が大切だと思った。
- ・ダムのことを深く考えたことがなかったので、役割などが理解できてよかった。

アンケート

➤フォーラムの感想・意見(5/5)

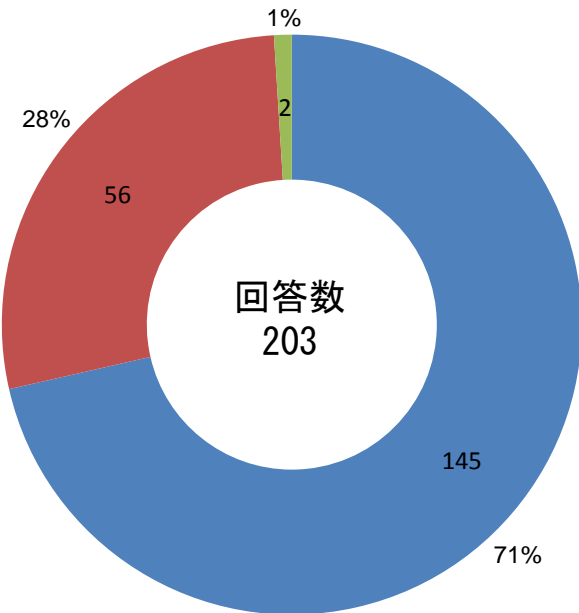
- ・とても良い機会でした。もっと多くの人にも聞いていただきたい内容でした。
- ・もっと多くの市民に伝えるべき内容だと思う。特に、ダムの下流の方々に伝えないといけない。今度、小石原川ダムをつくるために、ダムの必要性についてすり込まれた感じもした。
- ・今回の参加者は意識されている方なので、参加されていない方への呼び掛けが大事だと思う。
- ・フォーラムの実施について、地域住民に周知すべき自分で出来る避難対策は早急に実施したい。今日、学んだことを家族や地域の方に伝えようと思う。
- ・甘木、朝倉、杷木、3カ所に分けて、フォーラムを行なっていただき、住民の方々の意識を高めていただいたら良かった。一人でも多くの方に参加していただきたいです。今回のフォーラムは西日本新聞で知りましたが、市の方は、どのようにして、通達されたのでしょうか。
- ・洪水時の防災について、認識を深めることができた。行政、ダム管理者、地域の住民が一体となって、連携して取り組んでいくことが重要と感じた。
- ・住民とダムとで理解が深まっていない。
- ・杷木の水害について聞きたかった。実況でやるのは難しいので、据え置きのカメラをあちこちに置いて置くしかないのでは。
- ・良かった。年に一回以上は開催の必要性あり。
- ・伝える、伝わる、行動することはとても大事だと思う。垂直移動に対する不安がでてきた、どうしたらいいか家で検討したい。
- ・危機管理の大切さ、人命をいかに守るかといったこと、を日頃からやっていなければならないと考えさせられた。学校現場として、子供の安全を第一に考え、常にどう行動すればいいか、やっていきたいと思う。
- ・パネルディスカッションで、各界の意見要資料が良かった。後援の他市の話も興味深かった。参加できなかった人を残念に思う。
- ・都市部の水源地として治山等については日常的に考えていた(補助金等)。いくつものダムがある当地域では、もっと学習会など、情報の共有化をすべき(ダムとの共生)。ダムと共生する街として全国のフロントランナーとしての取り組みを発信して欲しい。※避難情報の追加変更について、副市長の提案、説明は非常に良かった。
- ・災害時、人命に関わるものと関わらないものでは、その後に大きく影響してくる、という言葉がとても印象的だった。H29.7九州北部豪雨があった朝倉市がまさに今、その状況と感じている。

アンケート

フォーラム参加者の統計

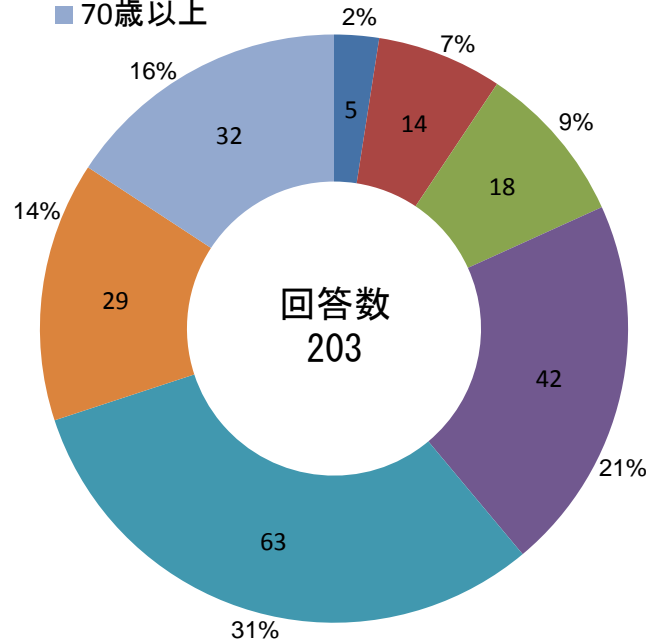
【性別】

■ 男性 ■ 女性 ■ 不明



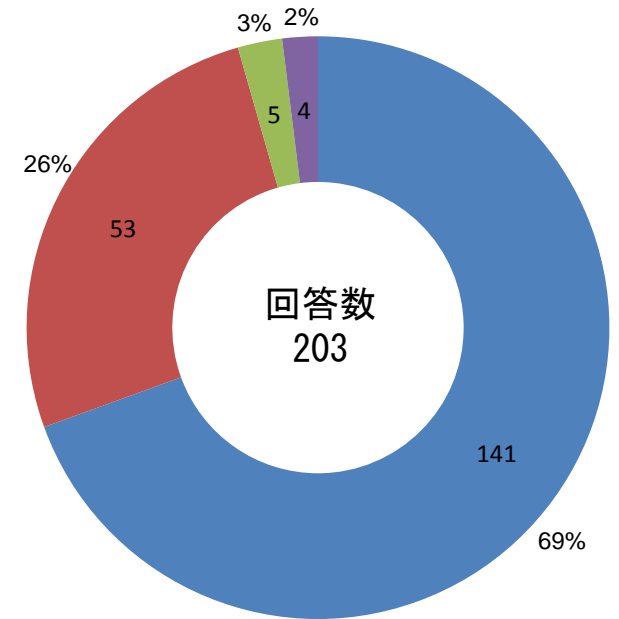
【年齢層】

■ 20歳未満 ■ 20代 ■ 30代
■ 40代 ■ 50代 ■ 60代
■ 70歳以上



【住居地域】

■ 朝倉市 ■ 福岡県内 ■ 福岡県外 ■ 未記入



アンケート

～ 実際のアンケート内容 ～

■■■■■■■■ アンケートのお願い ■■■■■■■■

本日は、『防災・減災フォーラムin朝倉』にご参加いただきありがとうございました。
今後の防災・減災等に関わる広報、周知活動等の参考にさせていただきたく、アンケートを実施いたします。
お手数をおかけしますが、下記アンケートへのご記入にご協力ください。

① ご自身について

- ・性別(男性 、 女性)
- ・年齢(20歳未満 、 20代 、 30代 、 40代 、50代 、 60代 、 70歳以上)
- ・お住まいの地域(福岡県外 、福岡県内(朝倉市内(地域名:)、朝倉市を除く福岡県内(市町村名))

② 防災意識の高まりについて

今回のフォーラムに参加して防災意識が (非常に高まった ・ 高まった ・ あまり変わらない)

③ ダムの効用と限界について

- ・ダムの洪水時防災操作、防災減災効果について (もともと知っていた ・ 何となく知っていた ・ 初めて知った)
- ・ダムの異常洪水時防災操作について (よく理解できた ・ 理解できた ・ 理解できなかった)
- ・今回のフォーラムに参加してダムの効用と限界を (よく理解できた ・ 理解できた ・ 理解できなかった)
- ・ダムの効用と限界について、感想・意見がありましたらお聞かせください

④ ご自宅、ご家族で災害に備えていることがありましたらお聞かせください

⑤ 今回のフォーラムについて感想、意見をお聞かせください

お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。